

## EA934YA仕様

### パンク修理材(乗用車、自動二輪チューブレスタイヤ用)

#### < 特長 >

- ① タイヤの外面から簡単に差し込むことが出来る、高耐久な補修材です。
- ② 修理の時、プラグが切れることなく簡単に、しかも完全に修理出来るように、特殊な繊維のフィラメントで強化された神秘的構造のパンク修理材です。
- ③ 独自のクッションゴムがタイヤ内部のクラックや細かな亀裂まで流れ込んで、クッションゴムがタイヤの内部まで確実に修理します。
- ④ 全てのスチールラジアルタイヤ、バイアスチューブレスタイヤ(乗用車タイヤ、小型トラックタイヤ)のパンク修理に最適です。

#### < セット内容 >

スパイラルツール、パーマキュアツール、スペアニードル  
六角レンチ、ケミカルセメント(205ml)  
パーマキュア(レギュラーサイズ 50本入)

#### < 注意 >

日本自動車タイヤ協会では、タイヤ修理箇所を、タイヤの接地面、修理箇所は2箇所まで、と決められております。タイヤサイド面の修理は絶対にしないで下さい。

テック®パーマキュア®は、タイヤの外面から簡単に差し込むことができる高耐久な修理材です。

“パーマキュア”は、修理のとき、プラグが切れることなく簡単に、しかも完全に修理できるように、特殊な繊維のフィラメントで強化された神秘的構造のパンク修理材です。

“テック”独自のクッションゴムが、タイヤ内部のクラックやこまかな亀裂にまで流れ込んで、クッションゴムがタイヤの内部まで確実に修理します。

“パーマキュア”は、すべてのスチールラジアルタイヤ、バイアスチューブレスタイヤ(乗用車タイヤ、小型トラックタイヤ等)のパンク修理に最適です。

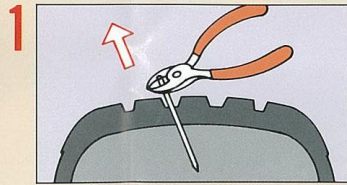


写真は、テック®パーマキュア®10本が相互に一体化して完全加硫した断面図です。このように“パーマキュア”は、相互にタイヤの傷穴を埋めつくし、複数のパーマキュアが完全加硫します。

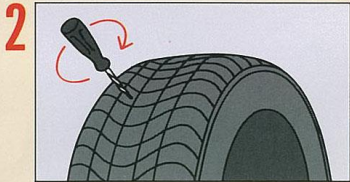
#### < 対応品番 >

| #     | EA         | 番号 | 品名           | 品番         |
|-------|------------|----|--------------|------------|
| #915  | EA934YB-3  |    |              |            |
| #770  | EA934YD-1  | ①  | パーマキュア(x50本) | EA934YD-12 |
| #922  | EA934YB-1  | ②  | パーマキュアツール    | EA934YB-1  |
| #222  | EA934YD-12 | ③  | スペアニードル      | EA934YB-2  |
| #704A | EA934YL-1  | ④  | スパイラルツール     | EA934YB-3  |
| #933  | EA934YB-5  | ⑤  | ケミカルセメント     | EA934YD-1  |
| #760  | EA934YD-2  | ⑥  | 六角棒レンチ       |            |
|       |            | ⑦  | セット缶         |            |

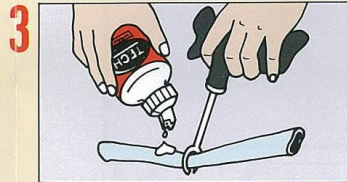
## パーマキュア 作業手順



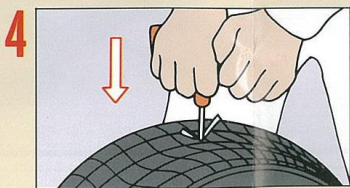
1. 傷穴にささっている釘などの角度を確かめながら異物をぬきとります。
2. その部分にタイヤクレヨンで、しるしをつけておきます。
3. セメントの入りをよくする為に、空気圧は通常の半分ぐらいにして下さい。



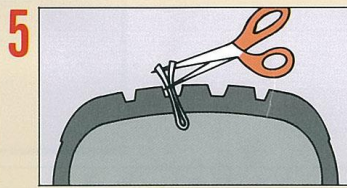
スパイラルツール(#915)にセメント(#770)をつけて右回転でサビや油のしみこんだ傷穴をよく清掃します。抜くときも右回転して下さい。3回程スパイラルツールにセメントをつけてこれを繰返します。



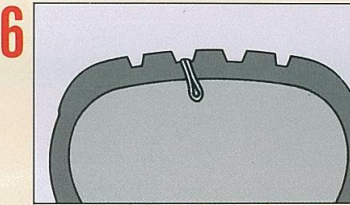
パーマキュアツール(#922)にパーマキュア(#222)のカバーをとって左右均等になる様はさみます。これにセメントを両面にたっぷりたらしめます。



スパイラルツール(#915)を引きぬきパーマキュア(#222)を手早く傷穴に打込みます。



表面のクッションゴムが溶けて傷穴を完璧に塞ぎます。3-10分待ってエアームレの有無をチェックして下さい。修理部分からのもれがない場合はタイヤの表面に出ている部分を切して下さい。



これで完了です。タイヤとパーマキュアが完全加硫します。

## 内面補修作業



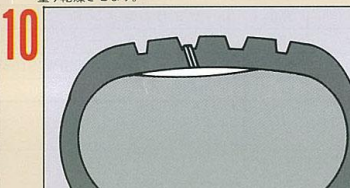
タイヤ内面にてけるパーマキュアをタイヤ内面と平らになるようにナイフでカットします。



タイヤ内面傷口中心にバフナー液「ラブ・オ・マチックNo.704-A」を吹きつけ、インナーライナー表面に附着している汚れ、シリコン、クワアイト粉等をスクレーパー(No.933)で完全にとり除ききれいなウエスでゴムかすをすくいとり良く乾かす。パッチをはる部分にケミカルセメント(#760)をうすく均一に塗り乾燥させます。



ケミカルセメントが完全に乾いたらセンテックラジアルパッチをローラーで圧着します。この時パッチの矢印を必ずヒード方向に向けて下さい。



これで修理完了。長距離走行してもびくともしません。安心してご使用下さい。